



11月度選抜用
(学校推薦型,総合型[公募制]他)

入学者選抜要項

[2026年度]



静岡理工科大学

目 次

募集人員、入学選抜日程	p1	出願書類の記入例	
求める学力について	p2	活動報告書	p20
書類を利用した試験科目とその評価について	p2	志望理由書	p22
入学選抜要項		志願票	p23
指定校推薦	p3	【出願書類】	
専門高校・総合学科給費奨学生推薦	p4	推薦書(様式A)	
公募制一般推薦	p5	活動報告書(様式B)	
公募制自己推薦	p6	志望理由書(様式C)	
専願制総合型給費奨学生	p7	入学志願票(11月度選抜用)	
給費型奨学生制度	p8	個人情報の取扱いについて	巻末
出願について	p9		
入学検定料の支払いについて	p10		
入学検定料の割引制度について	p10		
試験会場案内	p10		
受験票について	p11		
受験上の注意	p11		
入学検定料支払い方法のご案内	p12		
可否案内サービス(PASS-TEL)について	p13		
入学手続について	p14		
日本学生支援機構の給付奨学金について	p14		
建学の精神と基本理念	p15		
アドミッションポリシー	p15		
カリキュラムポリシー	p16		
ディプロマポリシー	p17		

■設置学部・学科・学系・コース

学部	学科	学系	コース		
理工学部	理工学科	機械・航空・ロボット工学系*	航空工学コース	ロボット工学コース	自動車工学コース
		電気電子工学系	制御・エネルギーコース	情報通信・デバイスコース	
		物質生命科学系	環境応用化学コース	応用生命化学コース	
建築・都市デザイン学部	建築・都市デザイン学科	建築学系	建築学コース		
		都市デザイン学系	地域創生コース	地球工学コース	
情報学部	情報学科	—	コンピュータコース	クリエイションコース	
			人間情報学コース	社会情報学コース	

*本要項では機械・航空・ロボット工学系は機械工学系と表記します

募集人員

選抜区分 選抜種別				学校推薦型選抜			総合型選抜					一般選抜					
				指定校推薦	専門・総合 給費奨学生推薦	公募制一般推薦	公募制自己推薦	専願制総合型 給費奨学生	公募制 給費奨学生	学系別専願方式	留学生 社会人 帰国生	本学一般 入学者選抜		一般入学者選抜 ＋ 共通テストプラス		大学入学 共通テスト利用 入学者選抜	
												前期	後期	前期	後期	前期	後期
学部・学科・学系区分		募集定員									(A)(B)	(A)(B)	(A)(B)	(A)(B)	(S)(A) (B)(C)	(A)(B) (C)	
学部・学科	学系	学科	学系	11月					12月	9～2月	10・12・1月	1・2月	3月	1・2月	3月	1・2月	3月
理工	機械工	190	70	16	10	4	3	10	30	8	2	10	2	2	2	10	3
	電気電子工		60	12		3	2			8	2	8	2	2	2	8	3
	物質生命科		60	12		3	2			8	2	8	2	2	2	8	3
建築・都市デザイン	建築	90	45	8		2	2			6	2	6	2	2	2	5	3
	都市デザイン		45	8		2	2			6	2	6	2	2	2	5	3
情報	－	140		36			13			10		9	2	26	2	2	2
合計		420		92	10	27	21	10	30	45	12	64	12	12	12	56	17

2026年度生 入学者選抜日程

選抜区分	学部・学科			入学者選抜種別	試験日	試験会場	出願方法	出願期間	結果通知日	手続書類送付日	入学金納入締切日
学校推薦型 総合型	理工	建築都市	情報	指定校推薦	11月15日(土)	本学	郵送	2025年10月31日(金)～11月6日(木) 消印有効	12月2日(火)	12月2日(火)	12月17日(水)
				専門高校・総合学科 給費奨学生推薦							
総合型	理工	建築都市	情報	公募制 一般推薦							
				公募制 自己推薦							
				専願制 総合型給費奨学生 (総合型内定者対象)				総合型選抜内定時に 別途通知			
総合型	理工	建築都市	情報	公募制 給費奨学生	12月13日(土)	本学 沼津 静岡 甲府	WEB	2025年11月24日(月)～12月4日(木) 正午まで	12月17日(水)	12月20日(土)	2月24日(火)
				学系別 専願方式 最早期・前期・中期・後期	9月～2月	本学	郵送	期毎異なる 詳細は受験生サイトで確認のこと。			
本学一般	理工	建築都市	情報	一般前期(A)・(B)	1月31日(土)	本学 沼津 静岡 名古屋 *1	WEB	2026年1月5日(月)～1月19日(月) 正午まで	2月10日(火)	2月14日(土)	2月24日(火)
					2月1日(日)						
					2月2日(月)						
				一般後期(A)・(B)	3月5日(木)	本学	WEB	2026年2月3日(火)～2月24日(火) 正午まで	3月14日(土)	3月14日(土)	3月23日(月)
*2 共通テストプラス	理工	建築都市	情報	一般前期(A)・(B) 共通テストプラス	一般前期を受験すること		WEB	2026年1月5日(月)～1月19日(月) 正午まで	2月10日(火)	2月14日(土)	2月24日(火)
				一般後期(A)・(B) 共通テストプラス	一般後期を受験すること		WEB	2026年2月3日(火)～2月24日(火) 正午まで	3月14日(土)	3月14日(土)	3月23日(月)
	大学入学共通テスト利用	理工	建築都市	前期共通テスト利用(S)	個別試験は課さない		WEB	2026年1月5日(月)～1月16日(金) 正午まで	2月10日(火)	2月14日(土)	2月24日(火)
				前期共通テスト利用(A)	個別試験は課さない		WEB	2026年1月5日(月)～1月25日(日) 正午まで	2月10日(火)	2月14日(土)	2月24日(火)
				前期共通テスト利用(B)							
		*3 都市	-	前期共通テスト利用(C) *3							
		建築都市	情報	後期共通テスト利用(A)	個別試験は課さない		WEB	2026年2月16日(月)～3月8日(日) 正午まで	3月14日(土)	3月14日(土)	3月23日(月)
				後期共通テスト利用(B)							
				後期共通テスト利用(C)							

*1 試験日により実施会場が異なる。一般選抜用入学者選抜要項及び本学受験生サイト参照。*2 共通テストプラスは、同時期の本学一般の受験結果に2026年の大学入学共通テストの対象教科の結果を1科目プラスして判定を行う。*3 前期共通テスト利用(C)は、理工学科(3学系)と都市デザイン学系のみの募集

求める学力について

高校での課程によらず、本学一般選考で課す科目をできるだけ履修していることが望ましいと考える。

そこで、本学入学後に理工学、建築・都市デザイン学、情報学の学習を進めるにあたってのベースとなる数学の基礎学力の修得状況を確認・評価するため、全学科学系とも「数学基礎【数学Ⅰ・数学A（場合の数と確率、図形の性質）】」を課し、記述式問題を含めて出題する。

また、建築学系では「実技試験」を課し、課題であるデッサンへの取り組みを通して、建築学を学ぶにふさわしい技能や表現力ならびに関心や意欲を有しているのかを評価し、判定に加える。

書類を利用した試験科目とその評価について

審査に使用する書類（調査書を除く）は本誌添付の様式を利用するか、本学受験生サイト入試情報より、書式データをダウンロードすること。

□ 書類審査A(調査書)の評価

全体の学習成績の状況に基づき評価を行う。配点は選抜種別により異なる。

例：配点15点の場合は「全体の学習成績の状況」を3倍、30点の場合は6倍、50点の場合は10倍する

ただし、感染症等に伴う臨時休業により、条件とする時期の全体の学習成績の状況の記載ができない場合は、出願時点において記載できる最も新しい全体の学習成績の状況に読み替えるものとする。

□ 書類審査B(推薦書)の評価

学力の3要素に関する記載内容について3段階で評価する。

□ 活動報告書の評価 p20-21の「活動報告書記入例」を確認すること

本学指定用紙(様式B)に記載された次の項目【評価点各1点】についての評価を行う。

基本各1点、配点は選抜種別により異なる。

例：配点20点の場合は評価点を4倍する

- I 高度な技術や能力を持つ者(資格・検定)
- II 社会的活動を通じて高い評価を得ている者
- III 課外活動等さまざまな分野で高い評価を得ている者(発表会・コンテスト・競技会)
- IV その他具体的な事例で示すことのできる特長を持った者
- V プラス評価 上記4項目の内、同一項目内に複数の違う分野での活動実績が認められる者に【評価点1点を加点】する

□ 志望理由書の評価 p22の「志望理由書記入例」を確認すること

本学指定用紙(様式C)に400字以内(出身校名と氏名の行含む)で記載。

将来の目標に対して、本学に進学する目的、興味のある研究や行きたい研究室を含めての記載を求める。

なお、以下の選抜種別において、次の対象者のみ志望理由書を書類審査Cとし、記載の内容を3段階で評価する。

- 公募制 自己推薦【配点30点】

【対象】 全体の学習成績の状況の記載がない書類(卒業証明書、成績証明書、合格成績証明書等)を提出した者。

指定校推薦

☐ 募集学部・学科・学系 *募集人数はp1参照のこと

[理工学部 理工学科] 機械工学系、電気電子工学系、物質生命科学系 (学系単位の募集)
[建築・都市デザイン学部 建築・都市デザイン学科] 建築学系、都市デザイン学系 (学系単位の募集)
[情報学部 情報学科] (学科単位の募集)

☐ 出願資格

以下の条件を満たす者

- ・ 専願であること (他校との併願不可。ただし、12月末までに結果が判明する国公立大学学校推薦型選抜・総合型選抜との併願は可)
- ・ 本学が指定する高等学校を2026年3月に卒業見込みの者
- ・ 在籍校の学校長が推薦する者
- ・ 高校最終年次1学期 (前期末) までの「全体の学習成績の状況」条件有 (高校毎に異なる)

☐ 選考日程

選考区分	出願期間 (締切日消印有効)	試験日	結果通知日	入学手続期間
指定校推薦	2025年10月31日(金)ー11月6日(木)	11月15日(土)	12月2日(火)	12月3日(水)ー12月17日(水)

☐ 選考会場 本学会場 (静岡理工科大学: 袋井市豊沢2200-2) p10参照

☐ 選考基準 高等学校での学修や活動状況を確認し、大学入学後の目標や学習に支障のない基礎学力を有するかを判定。

☐ 選考方法と試験時間 以下項目にて受験した者を判定する。書類を利用した評価についてはp2を参照のこと。

- 建築学系希望者の試験開始は9:30、その他学科学系希望者の試験開始は11:30とする。

試験項目	内容	配点	時間	
学力試験	数学基礎【数学Ⅰ・数学A (場合の数と確率、図形の性質)】	100点	11:30 - 12:30	60分
面接	個人面接	100点	13:30 - 順次	5分
書類審査A (調査書)	全体の学習成績の状況×10	50点	—	
書類審査B (推薦書)	学力の3要素の記載内容について3段階で評価	30点	—	
活動報告書	指定用紙の評価4項目に該当する事項を記入	20点	—	
志望理由書	指定用紙に400字以内にまとめ提出	—	—	
実技試験 (建築学系のみ)	デッサン:①静物、②観察力 ※受験生サイト本学の入試について内「建築学系の実技試験について」を参照	50点	9:30 - 11:00	90分

☐ 出願書類 p9「出願について」を確認すること

- ・ 入学志願票 本学所定の用紙 [指定校推薦用] または [11月度選抜用]
- ・ 入学検定料 30,000円
 - ①コンビニで納付した場合は「収納証明書」を貼付
 - ②銀行振込で納付した場合は「取扱銀行収納印」の押印を確認
- ・ 調査書 高等学校長が作成し、厳封したもの。
- ・ 推薦書 本学所定の用紙ー様式A
- ・ 活動報告書 本学所定の用紙ー様式B
- ・ 志望理由書 本学所定の用紙ー様式C

☐ 受験票 受験票は入学志願票受理後、受付順に本学より送付。詳細はp11を参照のこと。

☐ 結果通知

- ・ 合格者には結果通知日 (12月2日) 当日、合格通知書 (入学手続関係書類含む) を日本郵便のレターパックで送付する。
- ・ 本学構内での掲示による発表は行わない

専門高校・総合学科 給費奨学生推薦

☆給費型奨学生制度対象入学者選抜 (p8 参照)

給費型奨学生採用区分と枠

- ・授業料 50 万円給費奨学生 本学全体で 10 名を目処に採用 (最大 4 年間 200 万円給費 * 更新条件有)
- ・奨学生採用枠から漏れた場合は原則指定校推薦の基準で合否判定する

募集学部・学科・学系 * 募集人数は p1 参照のこと

[理工学部 理工学科] 機械工学系、電気電子工学系、物質生命科学系 (学系単位の募集)
[建築・都市デザイン学部 建築・都市デザイン学科] 建築学系、都市デザイン学系 (学系単位の募集)
[情報学部 情報学科] (学科単位の募集)

出願資格 以下の条件を充たす者

- ・専願であること (他校との併願不可。ただし、12 月末までに結果が判明する国公立大学学校推薦型選抜・総合型選抜との併願は可)
- ・高等学校 (中等教育学校を含む) の専門学科や総合学科を 2026 年 3 月に卒業見込みの者
- ・在籍校の学校長が推薦する者
- ・在籍校の最終年次 1 学期 (前期末) までの全体の学習成績の状況が 4.0 以上の者

選考日程

選考区分	出願期間 (締切日消印有効)	試験日	結果通知日	入学手続期間
専門高校・総合学科給費奨学生推薦	2025 年 10 月 31 日 (金) - 11 月 6 日 (木)	11 月 15 日 (土)	12 月 2 日 (火)	12 月 3 日 (水) - 12 月 17 日 (水)

選考会場 本学会場 (静岡理工科大学: 袋井市豊沢 2200-2) p10 参照

選考基準

高等学校での専門学科や総合学科における専門科目の学修状況や活動状況を確認し、奨学生として相応しい学力を有するかを判定する。

選考方法と試験時間 以下項目にて受験した者を判定する。書類を利用した評価については p2 を参照のこと。

● 建築学系希望者の試験開始は 9 : 30、その他学科学系希望者の試験開始は 11 : 30 とする。

試験項目	内容	配点	時間	
学力試験	数学基礎【数学 I・数学 A (場合の数と確率、図形の性質)】	100 点	11 : 30 - 12 : 30	60 分
面接	個人面接	100 点	13 : 30 - 順次	10 分
書類審査 A (調査書)	全体の学習成績の状況 × 10	50 点	—	
書類審査 B (推薦書)	学力の 3 要素の記載内容について 3 段階で評価	30 点	—	
活動報告書	指定用紙の評価 4 項目に該当する事項を記入	20 点	—	
志望理由書	指定用紙に 400 字以内にまとめ提出	—	—	
実技試験 (建築学系のみ)	デッサン: ① 静物、② 観察力 ※ 受験生サイト 本学の入試について内「建築学系の実技試験について」を参照	—	9 : 30 - 11 : 00	90 分

出願書類 p9「出願について」を確認すること

- ・入学志願票 本学所定の用紙 [専門高校・総合学科給費奨学生推薦用] または [11 月度選抜用]
- ・入学検定料 30,000 円
① コンビニで納付した場合は「収納証明書」を貼付
② 銀行振込で納付した場合は「取扱銀行収納印」の押印を確認
- ・調査書 高等学校長が作成し、厳封したもの。
- ・推薦書 本学所定の用紙 - 様式 A
- ・活動報告書 本学所定の用紙 - 様式 B
- ・志望理由書 本学所定の用紙 - 様式 C

受験票 受験票は入学志願票受理後、受付順に本学より送付。詳細は p11 を参照のこと。

結果通知

- ・合格者には結果通知日 (12 月 2 日) 当日、合格通知書 (入学手続関係書類含む) を日本郵便のレターパックで送付する。
- ・本学構内での掲示による発表は行わない
- ・給費型奨学生に採用された場合には、その旨と採用区分が合格通知書に記載される

公募制 一般推薦

☐ 募集学部・学科・学系 *募集人数はp1参照のこと

[理工学部 理工学科] 機械工学系、電気電子工学系、物質生命科学系 (学系単位の募集)
[建築・都市デザイン学部 建築・都市デザイン学科] 建築学系、都市デザイン学系 (学系単位の募集)
[情報学部 情報学科] (学科単位の募集)

☐ 出願資格

次のいずれかの条件を満たす者で、在籍校の学校長が推薦する者

- ・高等学校 (中等教育学校を含む) を2026年3月に卒業見込みの者
- ・専修学校の高等課程 (修業年限が3年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る) で文部科学大臣が別に指定するものを2026年3月31日までに修了見込みの者

☐ 選考日程

選考区分	出願期間 (締切日消印有効)	試験日	結果通知日	入学手続期間
公募制 一般推薦	2025年10月31日(金)～11月6日(木)	11月15日(土)	12月2日(火)	12月3日(水)～12月17日(水)

☐ 選考会場 本学会場 (静岡理工科大学: 袋井市豊沢2200-2) p10参照

☐ 選考基準 高等学校での学修や活動状況を確認し、大学入学後の目標や学習に支障のない基礎学力を有するかを判定。

☐ 選考方法と試験時間 以下項目にて受験した者を判定する。書類を利用した評価についてはp2を参照のこと。

- 建築学系希望者の試験開始は9:30、その他学科学系希望者の試験開始は11:30とする。

試験項目	内容	配点	時間	
学力試験	数学基礎【数学Ⅰ・数学A (場合の数と確率、図形の性質)】	100点	11:30 - 12:30	60分
面接	個人面接	50点	13:30 - 順次	5分
書類審査A (調査書)	全体の学習成績の状況×3	15点	—	
書類審査B (推薦書)	学力の3要素の記載内容について3段階で評価	15点	—	
活動報告書	指定用紙の評価4項目に該当する事項を記入	20点	—	
志望理由書	指定用紙に400字以内にまとめ提出	—	—	
実技試験 (建築学系のみ)	デッサン:①静物,②観察力 ※受験生サイト本学の入試について内「建築学系の実技試験について」を参照	50点	9:30 - 11:00	90分

☐ その他 学科を問わず、第2志望学系 (情報は学科) まで志願票へ記入することができる。他大学との併願可。

☐ 出願書類 p9「出願について」を確認すること

- ・入学志願票 本学所定の用紙 [11 月度選抜用]
- ・入学検定料 30,000 円
 - ①コンビニで納付した場合は「収納証明書」を貼付
 - ②銀行振込で納付した場合は「取扱銀行収納印」の押印を確認
- ・調査書 高等学校長が作成し、厳封したもの。
- ・推薦書 本学所定の用紙—様式 A
- ・活動報告書 本学所定の用紙—様式 B
- ・志望理由書 本学所定の用紙—様式 C

☐ 受験票 受験票は入学志願票受理後、受付順に本学より送付。詳細はp11を参照のこと。

☐ 結果通知

- ・合格者には結果通知日 (12月2日) 当日、合格通知書 (入学手続関係書類含む) を日本郵便のレターパックで送付する。なお、不合格者には送付しないので注意すること
- ・本学構内での掲示による発表は行わない
- ・合否結果を、スマートフォン、パソコンを利用した「合否案内サービス (PASS-TEL)」でも通知。利用方法についてはp13を参照すること

公募制 自己推薦

☐ 募集学部・学科・学系 *募集人数はp1参照のこと

[理工学部 理工学科] 機械工学系、電気電子工学系、物質生命科学系 (学系単位の募集)
[建築・都市デザイン学部 建築・都市デザイン学科] 建築学系、都市デザイン学系 (学系単位の募集)
[情報学部 情報学科] (学科単位の募集)

☐ 出願資格 次の(1)(2)(3)いずれかの条件を満たす者

- (1) 高等学校 (中等教育学校を含む) を卒業した者及び2026年3月に卒業見込みの者
 - (2) 特別支援学校の高等部又は高等専門学校の3年次を修了した者及び2026年3月に卒業見込みの者
 - (3) 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び2026年3月31日までにこれに該当する見込みの者で、次の①～⑥のいずれかに該当する者
- ① 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び2026年3月31日までに修了見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
 - ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び2026年3月末までに修了見込みの者
 - ③ 専修学校の高等課程 (修業年限が3年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る) で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び2026年3月31日までに修了見込みの者
 - ④ 文部科学大臣の指定した者
 - ⑤ 高等学校卒業程度認定試験 (大学入学資格検定含む) に合格した者及び2026年3月末までに合格見込みの者で2026年3月31日までに18歳に達する者
 - ⑥ 本学において、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2026年3月31日までに18歳に達する者

☐ 選考日程

選考区分	出願期間 (締切日消印有効)	試験日	結果通知日	入学手続期間
公募制 自己推薦	2025年10月31日(金)～11月6日(木)	11月15日(土)	12月2日(火)	12月3日(水)～12月17日(水)

☐ 選考会場 本学会場 (静岡理工科大学: 袋井市豊沢2200-2) p10参照

☐ 選考基準 これまでの学修や活動状況を確認し、大学入学後の目標や学習に支障のない基礎学力を有するかを判定。

☐ 選考方法と試験時間 以下項目にて受験した者を判定する。書類を利用した評価についてはp2を参照のこと。

● 建築学系希望者の試験開始は9:30、その他学科学系希望者の試験開始は11:30とする。

試験項目	内容	配点	時間	
学力試験	数学基礎【数学Ⅰ・数学A (場合の数と確率、図形の性質)】	100点	11:30 - 12:30	60分
面接	個人面接	50点	13:30 - 順次	5分
書類審査A (調査書)	全体の学習成績の状況×6	30点	—	
活動報告書	指定用紙の評価4項目に該当する事項を記入	20点	—	
書類審査C (志望理由書)	指定用紙に400字以内にまとめ提出	p2参照	—	
実技試験 (建築学系のみ)	デッサン: ①静物、②観察力 ※受験生サイト本学の入試について「建築学系の実技試験について」を参照	50点	9:30 - 11:00	90分

☐ その他 学科を問わず、第2志望学系 (情報は学科) まで志願票へ記入することができる。他大学との併願可。

☐ 出願書類 p9「出願について」を確認すること

- ・ 入学志願票 本学所定の用紙 [11月度選抜用]
- ・ 入学検定料 30,000円
 - ① コンビニで納付した場合は「収納証明書」を貼付
 - ② 銀行振込で納付した場合は「取扱銀行収納印」の押印を確認
- ・ 調査書 高等学校長が作成し、厳封したもの。既卒者は成績証明書も可。
高等学校卒業程度認定試験の合格 (見込) 者は「合格 (見込) 成績証明書」を提出のこと。
- ・ 活動報告書 本学所定の用紙—様式B
- ・ 志望理由書 本学所定の用紙—様式C

☐ 受験票 受験票は入学志願票受理後、受付順に本学より送付。詳細はp11を参照のこと。

☐ 結果通知

- ・ 合格者には結果通知日 (12月2日) 当日、合格通知書 (入学手続関係書類含む) を日本郵便のレターパックで送付する。
なお、不合格者には送付しないので注意すること
- ・ 本学構内での掲示による発表は行わない
- ・ 合否結果を、スマートフォン、パソコンを利用した「合否案内サービス (PASS-TEL)」でも通知。
利用方法についてはp13を参照すること

専願制 総合型 給費奨学生選抜

☆給費型奨学生制度対象入学者選抜 (p8 参照)

☐ 給費型奨学生採用区分と枠

- ・授業料 50 万円給費奨学生 本学全体で 10 名を目処に採用 (最大 4 年間 200 万円給費 * 更新条件有)
- ・奨学生採用枠から漏れた場合は総合型選抜での合格とする

☐ 募集学部・学科・学系 *募集人数はp1参照のこと

[理工学部 理工学科] 機械工学系、電気電子工学系、物質生命科学系 (学系単位の募集)

[建築・都市デザイン学部 建築・都市デザイン学科] 建築学系、都市デザイン学系 (学系単位の募集)

[情報学部 情報学科] (学科単位の募集)

☐ 出願資格 以下の条件を充たす者

- ・本学総合型選抜「最前期」または「前期」の内定者であること

☐ 選考日程

選考区分	出願期間 (締切日消印有効)	試験日	結果通知日	入学手続期間
専願制 総合型 給費奨学生選抜	総合型選抜内定時に別途通知	11月15日(土)	12月2日(火)	12月3日(水) - 12月17日(水)

☐ 選考会場 本学会場 (静岡理工科大学: 袋井市豊沢2200-2) p10参照

☐ 選考基準

奨学生として相応しい学力を有するかを判定する。

☐ 選考方法と試験時間 以下項目にて受験した者を判定する。

- 試験開始は 11:30 とする。

試験項目	内容	配点	時間
学力試験	数学基礎【数学 I・数学 A (場合の数と確率、図形の性質)】	100点	11:30 - 12:30 60分

☐ 出願書類 合格内定時に送付する要項を確認すること

- ・入学志願票 合格内定時に送付する本学所定の用紙 [総合型選抜用]
- ・入学検定料 20,000 円
 - ①コンビニで納付した場合は「収納証明書」を貼付
 - ②銀行振込で納付した場合は「取扱銀行収納印」の押印を確認

☐ 受験票 受験票は入学志願票受理後、受付順に本学より送付。詳細はp11を参照のこと。

☐ 結果通知

- ・合格者には結果通知日 (12 月 2 日) 当日、合格通知書 (入学手続関係書類含む) を日本郵便のレターパックで送付する。
- ・本学構内での掲示による発表は行わない
- ・給費型奨学生に採用された場合には、その旨と採用区分が合格通知書に記載される

静岡理工科大学 給費型奨学生制度（返還義務なし）

対象となる選抜種別内での成績が特に優秀な受験生に対し、勉学奨励を目的として、授業料給付等の特典が与えられる奨学生制度。

□ 奨学生採用区分と対象入学選考・枠

■ 授業料 100 万円給費奨学生【授業料サポート 100】

＊最大 4 年間 400 万円給費【学年末に更新審査有：継続条件－在籍学系（情報は学科）の成績上位 20 % 以内】

● 対象選抜種別と採用枠

- ・「一般前期 (A)」の成績優秀者として成績上位の者を採用
- ・「一般前期 (A) 共通テストプラス」の成績優秀者として成績上位の者を採用
- ・【採用枠：上記選考より最大 30 名を目処】

■ 授業料 50 万円給費奨学生【授業料サポート 50】

＊最大 4 年間 200 万円給費【学年末に更新審査有：継続条件－在籍学系（情報は学科）の成績上位 25 % 以内】

● 対象選抜種別と採用枠

- ・「専門高校・総合学科給費奨学生推薦」の成績優秀者 【採用枠：10 名を目処】
- ・「専願制 総合型給費奨学生」の成績優秀者 【採用枠：10 名を目処】
- ・「公募制 給費奨学生」の成績優秀者 【採用枠：最大 30 名を目処】
- ・「前期共通テスト利用 (S)」の合格者の内、合計得点率 60 % 以上の者を採用【採用枠：人数制限なし】
- ・「前期共通テスト利用 (A)」の合格者の内、合計得点率 65 % 以上の者を採用【採用枠：人数制限なし】

□ 給費奨学生チャレンジ制度

■ 給費型奨学生

指定校推薦、専門高校・総合学科給費奨学生推薦、公募制 一般推薦、公募制 自己推薦といった推薦選抜や、総合型選抜の合格者が、入学の権利を保持した（入学手続完了者の）まま、給費型奨学生の対象選考【公募制 給費奨学生、一般前期 (A)、一般前期 (A) 共通テストプラス、前期共通テスト利用 (S)、前期共通テスト利用 (A)】にチャレンジできる制度を導入。この制度で給費型奨学生に採用された場合には、納入済みの費用の差額が返還される。

出願について

■ 推薦選抜

指定校推薦、専門高校・総合学科給費奨学生推薦、公募制 一般推薦、公募制 自己推薦については、**志願票を利用して出願**すること

■ 志願票の記入について

- ①記入例 (p23) を参照のうえ、黒ボールペンで正確に記入すること。
- ②記入間違いをした場合には、修正液・テープや二重線を引くなどして明確な訂正をすること。
ただし、入学検定料金額の修正は、銀行窓口においての通常取扱いができないので注意すること。
- ③氏名に使用する漢字はコンピュータで管理するため、J I S 第2水準以内に限定されることから、記入された漢字を使用できず、類似するものに置き換える場合がある。
(例 吉→吉、邦→邦、桑→桑 など)
- ④出願後の志望学科の変更は認めない。
- ⑤高校コードについては9月以降、本学受験生サイト (入試情報ページ) から確認すること。

入試情報ページ：<https://navi.sist.ac.jp/exam/>

■ 本学内における併願のルールについて

- ・ 指定校推薦、専門高校・総合学科給費奨学生推薦については、1つの学系 (情報は学科) のみに出願可。
- ・ 公募制一般推薦、公募制自己推薦では、第2志望まで選択可。

■ 出願上の注意

各選考ページの出願書類の欄を参照し、出願すること。
出願書類に不足または不備がある場合および期限を過ぎたものは受理できない。
結果の通知を出身高等学校等に行うことを了承すること。
一旦受理した書類はいかなる事由においても返還できない。

■ 入学検定料支払いに際しての注意

「コンビニ納付」「銀行窓口納付」いずれの場合も振込手数料は本人負担となること。
一旦納入した入学検定料はいかなる事由においても返還できないこと。
領収書など志願者が保管すべき書類は大切に保管すること。

■ 出願方法

郵送出願－入学者選抜要項添付の志願票を利用して出願する方式
※9～12ページ参照



調査書等の準備

調査書等の作成を高等学校に依頼して、取り寄せること。



志願票の作成

志願票に必要事項等を記入
※記入方法は、23ページ参照



検定料の振込み

コンビニ支払または銀行窓口にて振込み



出願書類の提出

○郵送のみ－出願書類を本学指定の封筒に入れ、簡易書留速達で送付すること
※受験票は、出願書類を受理した者から順次送付を行う



出願完了

□ 入学検定料の支払いについて

入学検定料は次のいずれかで支払うこと。

■ コンビニエンスストアを利用する場合（詳細はp12参照のこと）

p12を参照のうえ、コンビニにある端末で必要情報を入力し、

出力された用紙（「払込票」、「申込券」）を基にレジにて検定料を支払うこと。

支払い後、「取扱明細書」または「払込受領証」を必ず受取ること。

「収納証明書」部分を切り取り、「入学志願票－①」の《コンビニ「収納証明書」貼付欄》に糊付けすること。

* 出願受付締切日の検定料支払い受付は23時までとなります。

■ 銀行の窓口を利用する場合

本学指定の入学検定料「振込依頼書（入学志願票下部－③）」を使用し、銀行窓口より「電信扱い」にて振込むこと。

振込後、手元に戻された「入学志願票－①」、「振込金受取書－②」に「取扱銀行収納印」が押印されていることを確認すること。

□ 入学検定料の割引制度について

本学では、受験に掛かる費用の負担軽減を鑑み、入学検定料の割引制度を導入。

本学における初めての入学選考出願後、以降の選考への出願や同時期での別日程や複数学系への出願をした場合などに次に示す「本学試験グループ」「共通テストグループ」それぞれのグループ内で追加の検定料が不要となる「検定料定額制－複数出願追加検定料不要－」の制度です。

□ 入学検定料

■ 選考区分「本学試験グループ」 定額 30,000 円で複数学系・入試種別、複数回出願可。追加の検定料は不要。

【該当する選考】

総合型選抜（学系別専願制〔専願制総合型給費奨学生含む〕）、指定校推薦、専門高校・総合学科給費奨学生推薦、公募制一般推薦、公募制自己推薦、公募制給費奨学生、

一般前期（A）、一般前期（B）、一般前期（A）共通テストプラス、一般前期（B）共通テストプラス、

一般後期（A）、一般後期（B）、一般後期（A）共通テストプラス、一般後期（B）共通テストプラス

※ 総合型選抜（学系別専願制）出願者が他の選考に出願する場合は入試本部（0538-45-0118）までご連絡ください。

■ 選考区分「共通テストグループ」 定額 20,000 円で複数学系・種別、複数回出願可。追加の検定料は不要。

【該当する選考】

前期共通テスト利用（S）、前期共通テスト利用（A）、前期共通テスト利用（B）、前期共通テスト利用（C）、

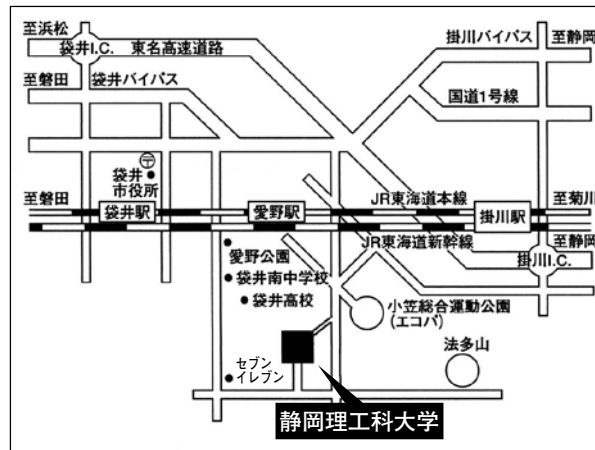
後期共通テスト利用（A）、後期共通テスト利用（B）、後期共通テスト利用（C）

試験会場案内

■ 本学会場

指定校推薦	11/15（土）
専門高校・総合学科 給費奨学生推薦	
公募制 一般推薦	
公募制 自己推薦	
専願制 総合型給費奨学生	

本学会場



会場 静岡理科大学 静岡県袋井市豊沢2200-2

交通 ・ JR「愛野」駅南口よりシャトルバスで約6分
・ バスの運行時間（JR愛野駅南口→本学）については
受験票または本学WEBサイトで確認すること。

受験票について

- ① 受験票は入学志願票受理後、受付順に本学より送付。
- ② 受験票の記載事項が正しいか確認すること。
(氏名、フリガナが間違っている、出願内容と異なっている場合には入試本部 (TEL0538-45-0118) へ電話をして、訂正を申し出ること。)
- ③ 写真貼付欄への写真 (縦4cm×横3cm) は3ヶ月以内に撮影したものとし、裏面に氏名、高校名、生年月日を記入のうえ、貼付すること。
- ④ 試験当日、受験票を必ず持参すること。忘れた場合や紛失した場合には、試験会場の会場本部へ申し出ること。
- ⑤ 受験票が試験日2日前までに届かない場合は、入試本部 (TEL0538-45-0118) へ問い合わせること。

郵便はがき

袋井局

料金後納

郵便

4 3 7 8 5 5 5

静岡県袋井市豊沢
2200-2
静岡 理太郎 様

2026 年度 静岡理工科大学 受 験 票			
入試区分	公募制 一般推薦		写真貼り付け欄 正面上半身無帽、背景なし、3ヶ月以内に撮影。 写真の裏面に、氏名・高校名・生年月日を記入して貼ること。 4cm×3cm
試験日	2025年11月15日		
受験番号	2 1 0 5 0 1		
カナ氏名	シメタ リ太郎		
出願学科学系	理工学科 電気電子工学系	1	
	理工学科 機械工学系	2	
※右枠数字は志望順位			
試験会場	本学	選択科目	

← 写真貼付のうえ、当日持参すること。

受験上の注意

- ・ 受験生は、試験会場への交通所要時間などを事前に確認しておくこと。
- ・ 試験当日は、受験票 (顔写真貼付) を必ず持参すること。忘れた場合や紛失した場合には、試験会場の会場本部に申し出ること。
- ・ 受験生は、試験開始の20分前までに試験会場の所定の場所に着席し、受験票を机上に提示すること。
- ・ 携帯電話等は、試験会場に入る前に電源を切ること。なお、時計として使用することもできないので注意すること。
- ・ 筆記用具は、HBより濃い黒鉛筆またはシャープペンシルとプラスチック消しゴムが使用可。
- ・ 建築学系において実技試験が課される選抜種別の場合は、鉛筆 (H、HB、B、2Bなど)、練り消しゴムを用意すること。
- ・ 定規、コンパス、下敷き、電卓、計算機、辞書機能を備えた時計などの使用は認めない。
- ・ 試験会場内では監督者、係員の指示に従うこと。
- ・ 試験開始後、30分を越える遅刻者は入室できない。
- ・ 試験開始後は終了まで退室できない。
- ・ 試験時間が午後までかかるので昼食を持参すること。
- ・ 受験生に対する宿泊施設等の斡旋は行わないので、各自で手配すること。
- ・ 下足のままで入室可能なため、スリッパ等上履きの用意はしなくて良い。

コンビニが
利用できます

静岡理科大学 入学検定料支払方法のご案内

【注意】「WEB出願」の入学検定料払込方法ではありません。

下記のコンビニ端末にてお支払いください

セブン-イレブン マルチコピー機

<https://www.sej.co.jp/services/multicopy>

最寄りの「セブン-イレブン」にある「マルチコピー機」へ。



TOP画面の「**学び・教育**」よりお申込みください。



学び・教育

入学検定料等支払

LAWSON
Loppi

MINISTOP
Loppi

<https://www.lawson.co.jp>

<https://www.ministop.co.jp>

最寄りの「ローソン」「ミニストップ」にある「Loppi」へ。



TOP画面の「**各種サービスメニュー**」よりお申込みください。



「各種申込(学び)」を含むボタン

学び・教育・各種検定試験

大学・短大、
小・中・高校等お支払い

静岡理科大学

をタッチし、申込情報を入力して「**払込票/申込券**」を発券ください。

*画面ボタンのデザインなどは予告なく変更となる場合があります。

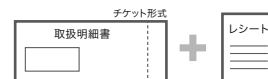
①コンビニのレジでお支払いください。

端末より「払込票」(マルチコピー機)または「申込券」(Loppi)が出力されますので、
30分以内にレジにてお支払いください。



②お支払い後、チケットとレシートの2種類をお受け取りください。

「取扱明細書」(マルチコピー機)または「払込受領証」(Loppi)。

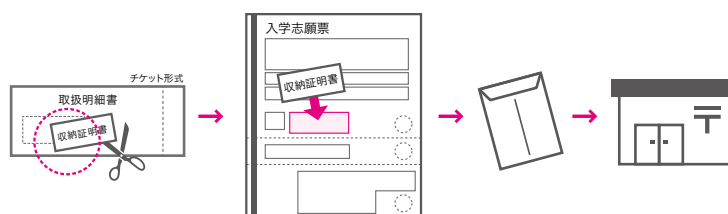


*お支払い済みの入学検定料はコンビニでは返金できません。
*お支払期限内に入学検定料のお支払いがない場合は、入力された情報はキャンセルとなります。
*すべての支払方法に対して入学検定料の他に、払込手数料が別途かります。

払込手数料 (税込)	入学検定料が5万円未満	550円
	入学検定料が5万円以上	770円

「取扱明細書」または「払込受領証」の
「**収納証明書**」部分を切り取り、
入学志願票の「**収納証明書貼付欄**」に添付して
郵送してください。

貼付する場合、「感熱・感圧紙などを変色させる場合があります」と記載のある糊は
使用しないでください。「収納証明書」が黒く変色する恐れがあります。



【入試に関するお問合わせ先】 静岡理科大学 入試本部 TEL 0538-45-0118 (受付時間)月曜～金曜 9:00～17:00 *土・日曜、祝日を除く

【操作などのお問合わせ先】 学び・教育サポートセンター <https://e-apply.jp/> ※コンビニ店頭ではお応えできません。

合否案内サービス (PASS-TEL) について

合否結果を、スマートフォン、パソコンを利用した「合否案内サービス」でお知らせします。詳細については以下の通りです。

□ 利用できる選考

公募制一般推薦、公募制自己推薦

□ 合否案内サービス利用方法

このサービスはインターネットで合否結果を照会するシステムです。

(1) インターネットによる照会

- ① スマートフォンまたは、パソコンをご利用ください。(機種条件により利用できない場合があります。事前確認をお願いします。)
- ② 照会は「受験番号」と「暗証番号(誕生日の月日4桁)」を使用します。誕生日は志願票に記入いただいたものが反映されます。

(2) 利用上の注意事項

- ① 受験した学系(情報は学科)、受験番号等のお問い合わせにはお答えできませんので、試験当日、座席に配布されている「受験番号確認票」を必ず持ち帰り、この「入学者選抜要項」とあわせて、合格発表日まで保管してください。また、合否に関する本学への電話等でのお問い合わせも一切受け付けいたしませんのでご了承ください。
- ② 本システムの「誤操作」、「見間違い」等を理由とした入学手続期間終了後の入学手続は認められません。

□ 合否案内サービスを利用できる選考とその期間

選考区分		案内サービス期間
公募制一般推薦	公募制自己推薦	2025年12月2日(火)～12月3日(水) 9時～24時(両日とも)

□ 合否確認方法

ステップ1 URLを入力
<https://www.gouhi.com/sist/>
(スマートフォン・パソコン共通)



ステップ2

受験番号を入力

ステップ3

ステップ4

誕生日を入力

ステップ5

結果表示

※図はイメージ図であり、実際の画面とは異なる場合があります。
※すべて確認された方は、切断してください(終了)。

例) 3月5日→0305

入学手続について

合格者には、「合格通知書」「入学手続要項」を郵送するので、熟読のうえ、入学手続期間内に必要な手続を完了すること。
なお、期日までに手続を完了しない場合には、入学を辞退するものとして扱う。

*入学手続完了後の変更は認めないので注意すること。ただし、他の種別で他学系（情報は学科）に合格した場合にはその限りではない。

- 入学手続書類の提出 郵送に限る（締切日当日消印有効）
- 納付金の納入 指定口座への銀行振込に限る
- 入学手続期間

選考区分	入学手続期間（書類・入学金・授業料等納付金）
指定校推薦	12月3日(水)～12月17日(水)
専門高校・総合学科給費奨学生推薦	
公募制 一般推薦	
公募制 自己推薦	
専願制 総合型給費奨学生	

☐ 入学金以外の納付金の返還

入学手続完了者で、2026年3月26日までに入学辞退を申し出た者に限り、入学金を除く納付金を返還する。
返還は事務手続きの関係上、4月末日となるので留意すること。詳細については「入学手続要項」を参照のこと。

☐ 初年度納付金（2026年度入学生）

納付金の種類	入学金	授業料	計
前期	220,000円	703,500円	923,500円
後期	—	703,500円	703,500円

*給費奨学生の権利を得たものは、納付費用が変更される。

☐ 代理徴収金（2026年度入学生—予定額）

後援会費 15,750 円（1 年間分）、学生教育研究災害保険料 4,660 円（4 年間分）（2025 年度実績）の合計 20,410 円を代理徴収する。

☐ 注意事項

一旦提出された入学手続関係書類および入学金は、いかなる理由があっても返還しないので慎重に手続きをすること。

☐ ノートパソコンの購入について

本学では、コンピュータ教育の充実を図るため、新入生全員にノートパソコンを所持していただきます。本学が斡旋する機種を希望する場合は、一括払いか分割払いで購入いただけます。【2025 年度入学生一括払い実績額 170,700 円（税込）】

☐ 日本学生支援機構の給付奨学金について

独立行政法人 日本学生支援機構の【給付奨学金】へ予約採用の申し込みを行い、採用候補者として決定された方については初年度納付金の金額と授業料の納付時期が異なります。

詳細については、合格通知と共に送付する入学手続要項に記載していますので、確認のうえ、手続きを行う前にご連絡ください。

建学の精神と基本理念

本学は、学校法人静岡理工科大学の建学の精神「技術者の育成をもって地域社会に貢献する」に基づき、理念を次のように定めています。

豊かな人間性を基に、「やらまいか精神と創造性」で地域社会に貢献する技術者を育成する。

(注)「やらまいか」とは遠州地域の方言で「一緒にやってみよう」という意味で、進取の気性に富み、チャレンジ精神が旺盛な遠州人の気質を表現している言葉です。

○大学の目的

本学は上記の理念に基づき、大学の学則でその目的を次のように定めています。

「本学は、学校教育法及び教育基本法に基づき、科学・技術に関する学術を研究教授し、国際的視野と技術者としての使命感を持った向上心溢れる人材の育成、及び実践的創造的研究により社会に貢献することを目的とする」

○3つのポリシー

使命・目的を達成するための具体的な方策として、大学全体・各学部・学科・学系における3つのポリシーを次のように定めています。

静岡理工科大学 アドミッションポリシー(AP、入学者受入れの方針)

□ 大学全体

知識・理解	理工学又は建築・都市デザイン学又は情報学を学ぶために必要な基礎学力を有している。
思考・判断	物事を多面的に考察し、自らの考えを論理的にまとめることができる。
関心・意欲	理工学又は建築・都市デザイン学又は情報学の分野に興味をもち、自らチャレンジしようとする意欲を有している。
態度	主体的に学び、創造する姿勢を有する。
技能・表現	自らの考えを口頭表現や文章表現、図表等により伝えることができる。

□ 理工学部 理工学科

知識・理解	理工学を学ぶために必要な基礎学力を有している。
思考・判断	物事を多面的に考察し、自らの考えを論理的にまとめることができる。
関心・意欲	理工学の分野に興味をもち、自らチャレンジしようとする意欲を有している。
態度	主体的に学び、創造する姿勢を有する。
技能・表現	自らの考えを口頭表現や文章表現、図表等により伝えることができる。

機械工学系

知識・理解	機械工学を学ぶために必要な基礎学力を有している。
思考・判断	物事を多面的に考察し、自らの考えを論理的にまとめることができる。
関心・意欲	機械工学の分野に興味をもち、未知の領域にチャレンジしようとする意欲と熱意を有している。
態度	主体的、実践的に知識および技術を学ぶ姿勢を有する。
技能・表現	自らの考えを口頭表現や文章表現によって伝えることができる。

電気電子工学系

知識・理解	電気電子工学を学ぶために必要な数学全般や、電気・磁気分野を含む物理に関する基礎学力を有している。
思考・判断	もの、こと、環境、生物、社会などにおける様々な事象を、電気・電子・磁気現象とのつながりを意識しながら、客観的に捉え、自らの考えを論理的にまとめることができる。
関心・意欲	ハードウェア・ソフトウェア両面の技術開発を通じて、半導体、医療・福祉、モビリティ分野を含む、地域・社会における課題を解決したいという熱意を持っており、入学前までに、高校内外において関連する分野の探究学習・課題研究に取り組む、また本学系の研究室・研究内容を調査し、模擬講義・実験体験に挑む、あるいはさがけ研究室体験に参加するといった、入学後を見据えながら、具体的な課題に取り組んでいこうとする意欲を有している。
態度	電気電子工学における学修系統を理解しており、自ら学習目標を設定し、それを実現するための知識・技術を主体的に学び、また実験・実践を通して修得し、高め、目標の達成に活かそうとする姿勢を有する。
技能・表現	図、表、グラフなどのデータを的確に用い、それらに基づいて、自らの考えやその妥当性を、第三者が理解、再現、実証できる形で、説明できる。

物質生命科学系

知識・理解	物質生命科学を学ぶために必要な基礎学力を有している。
思考・判断	物事を多面的に考察し、自らの考えを論理的にまとめることができる。
関心・意欲	物質生命科学の分野に興味をもち、未知の領域にチャレンジしようとする意欲と熱意を有している。
態度	主体的、実践的に知識および技術を学ぶ姿勢を有する。
技能・表現	自らの考えを口頭表現や文章表現によって伝えることができる。

□ 建築・都市デザイン学部 建築・都市デザイン学科

- 知識・理解 建築・都市デザイン学を学ぶために必要な基礎学力を有している。
思考・判断 物事を多角的に考察し、自らの考えを論理的にまとめることができる。
関心・意欲 建築・都市デザイン学の分野に常に興味をもち、自らチャレンジしようとする意欲を有している。
態度 主体的に学び、創造する姿勢を持ち、技術者としてのモラルと寛容性を有する。
技能・表現 自らの考えを資料や口頭・文章表現、図表等により確実に伝えることができる。

建築学系

- 知識・理解 建築学を学ぶために必要な基礎学力を有している。
思考・判断 物事を観察・考察し、創造的な思考と判断ができる。
関心・意欲 建築の諸領域に常に関心をもち、新しい知識や技術を持続的に学ぶ意欲を有している。
態度 倫理観や責任感を有し、他分野との協調性を有する。
技能・表現 図面等や口頭表現を通して自らの提案を他者にきちんと伝えることができる。

都市デザイン学系

- 知識・理解 都市デザイン学を学ぶために必要な基礎学力を有している。
思考・判断 物事を多面的に考察し、創造的な思考と判断により、自らの考えを論理的にまとめることができる。
関心・意欲 都市デザイン学に関する諸領域に関心をもち、新しい知識や技術を持続的に学ぶ意欲を有している。
態度 主体的に学び、創造する姿勢を持ち、技術者としてのモラルと寛容性を有する。
技能・表現 自らの考えを口頭・文章表現等によって伝えることができる。

□ 情報学部 情報学科

- 知識・理解 情報学を学ぶために必要な基礎学力を有している。
思考・判断 情報処理の流れや、情報と社会との関係性について論理的に考えることができ、課題や間違いを見つけることができる。
関心・意欲 情報学の分野に興味をもち、自ら企画、設計、開発、課題解決する意欲を有している。
態度 自ら情報検索して疑問点を解決し、試行錯誤して制作・実践する主体的態度を有する。
技能・表現 自らの意図を口頭表現や文章表現で他人に説明することができる。

カリキュラムポリシー（CP、教育課程編成・実施の方針）

□ 大学全体

静岡理工科大学の建学の精神と理念、大学の目的に基づいて、全学、各学部、および各学科、各学系の卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）に掲げる能力を身につけるために、必要な科目を系統立てて教育課程の編成を行い、実践する。

□ 理工学部 理工学科

- (1) 研究者もしくは技術者としての確かな社会人基礎力を育成するために、Ⅰ類科目群（人間・文化科目）とⅡ類科目群（専門基礎科目）を設置する。
- (2) 専門的な知識を体系的に学び、技能・技術の向上のためにⅢ類科目群（学科専門科目）を設置する。また、チャレンジ意識の高い学生のニーズにこたえるべく、学内外の研究施設と連携し、学問分野や組織の垣根を超えた最先端の領域を学ぶことができる「尖端融合教育プログラム」を設置する。
- (3) 科目間の「つながり」を明確化し、系統だったカリキュラムを編成する。その一方で学系単一の学びとならないよう、横断的に学ぶことを可能とする。
- (4) 主体的な学びの姿勢を身につけ、「知識・理解」、「思考・判断」、「関心・意欲」、「態度」、「技能・表現」を養い、知識やスキルを統合して問題解決につなげていく能力や姿勢を育成する。
- (5) 入学から卒業に至る全期間を通して、プログラム化されたキャリア形成教育を実施する。
- (6) 国際的視野を培うため、外国語および外国文化の教育を系統的に実施する。
- (7) 入学者全員にとってアントレプレナーシップ精神の「萌芽」「気づき」となる科目を配置する。アントレプレナーシップに関する基礎知識を身につける科目群や、実験や討論、PBLを行う科目を設定し、その履修を奨励するとともに、学生生活においても、主体性や問題解決能力を培うことが可能な生活環境を設定する。

機械工学系

機械工学の基礎（四力学、加工、材料）を理解し、さらに「ものから入る教育」を通して設計・解析・製作・評価の実践のプロセスが身につくカリキュラムを編成する。

電気電子工学系

- 電気・電子に関する幅広い知識を十分に身につけた学生を育てるため、それらの元となる、数学、物理、さらには電気回路学・電子回路学・電磁気学に関する基礎知識を高めるべく、少人数・習熟度別クラス編成を行い、学科が3年前期終了時に実施する統一テストで、習熟度を確認する。
- 知識の習得だけではなく、その実践力を高めるための実験科目や、アクティブラーニングを含む講義を多数編成する。

- 本学科の今後の重点研究分野として位置付けている、半導体、医工連携、モビリティ分野における研究開発者を育成すべく、外部研究機関・研究施設と連携した、電気電子工学を活かした本学科独自のアドバンスト科目を構成する。
- 在学中に、自ら積極的に社会における課題を解決しようとする意欲や研究力を高めるべく、1年次から研究室に所属し、具体的な研究活動に参加できる、さきがけ研究室制度を実施する。
- 電気電子工学に関連する資格取得を可能とするカリキュラムを編成する。

物質生命科学系

初年次に学部共通科目に加え、物質生命科学系に共通の化学・生物・物理学の基礎科目を履修し、学年進行とともに化学を中心とした専門性の高い基礎科目と、材料科学、生命科学、食品科学の基礎科目を学習する。さらに環境応用化学コースおよび応用生命化学コースに分かれて専門性の高い科目を履修する。これらの科目とリンクして、1年後期から3年後期まで学生実験を行い、座学の知識を実践的に学ぶとともに、分析技術のスキルアップや、レポート作成とプレゼンテーションで表現力や発表技能の修得を目指す。これらの科目を履修することで、学系特有の資格や受験資格を得ることができる。さらに、教職課程を履修することで、高等学校教諭一種免許状（理科）を取得できる。

□ 建築・都市デザイン学部 建築・都市デザイン学科

- (1) 研究者もしくは技術者としての確かな社会人基礎力を育成するために、I類科目群（人間・文化科目）とII類科目群（専門基礎科目）を設置する。
- (2) 専門的な知識を体系的に学び、技能・技術の向上のためにIII類科目群（学科専門科目）を設置する。また、チャレンジ意識の高い学生のニーズにこたえるべく、学内外の研究施設と連携し、学問分野や組織の垣根を超えた最先端の領域を学ぶことができる「尖端融合教育プログラム」を設置する。
- (3) 科目間の「つながり」を明確化し、系統だったカリキュラムを編成する。その一方で学系単一の学びとならないよう、建築・都市デザイン学を包括的・横断的に学ぶことを可能とする。
- (4) 主体的な学びの姿勢を身につけ、「知識・理解」、「思考・判断」、「関心・意欲」、「態度」、「技能・表現」を養い、知識やスキルを統合して問題解決につなげていく能力や姿勢を育成する。
- (5) 入学から卒業に至る全期間を通して、プログラム化されたキャリア形成教育を実施する。
- (6) 国際的視野を培うため、外国語および外国文化の教育を系統的に実施する。
- (7) 入学者全員にとってアントレプレナーシップ精神の「萌芽」「気づき」となる科目を配置する。アントレプレナーシップに関する基礎知識を身につける科目群や、実験や討論、PBLを行う科目を設定し、その履修を奨励するとともに、学生生活においても、主体性や問題解決能力を培うことが可能な生活環境を設定する。

建築学系

- (1) 建築には、建築計画・意匠、建築史、建築構造、建築環境・設備、建築材料・建築生産といった領域に加え、都市的スケールに及ぶ理解が求められる。
- (2) 上記(1)の統合の上に成立する「建築」を創造するための科目を配置し、一級建築士・二級建築士などの資格取得ができるカリキュラムを編成する。

都市デザイン学系

- (1) 座学、実験及び実務現場における学びの3者を同時並行的に学ぶことで、相乗効果により理解を深化させることができるカリキュラム。
- (2) 静岡県内の実際のフィールドを活用した実践的な知識・技術を身につけることができるカリキュラム
- (3) 卒業要件を満たすことで測量士補の資格を取得でき、また教職課程科目を履修することで高校教員一種免許状（工業）が得られるカリキュラム。
- (4) 技術士補資格の試験及び公務員（土木職）の専門科目試験の内容を網羅した体系的な学びができるカリキュラム。
- (5) 地球全体を俯瞰した環境問題から身近な地域環境までの様々なスケールでの「まちづくり」技術を学ぶことができるカリキュラム。

□ 情報学部 情報学科

- (1) 研究者もしくは技術者としての確かな社会人基礎力を育成するために、I類科目群（人間・文化科目）とII類科目群（専門基礎科目）を設置する。
- (2) 専門的な知識を体系的に学び、技能・技術向上のためにIII類科目群（学科専門科目）を設置する。各学生の学びの目標に対応した4つのコース（コンピュータ、クリエイション、人間情報学、社会情報学）を設け、履修の道筋を明示する。また、チャレンジ意識の高い学生のニーズにこたえるべく、学内外の研究施設等と連携した、アドバンストプログラムを学ぶことができる科目を設置する。
- (3) 科目間の「つながり」を明確化し、系統だったカリキュラムを編成する。その一方でコース単一の学びとならないよう、横断的に学ぶことについて奨励する。
- (4) 主体的な学びの姿勢を身につけ、「知識・理解」、「思考・判断」、「関心・意欲」、「態度」、「技能・表現」を養い、知識やスキルを統合して問題解決につなげていく能力や姿勢を育成する。
- (5) 入学から卒業に至る全期間を通して、プログラム化されたキャリア形成教育を実施する。
- (6) 国際的視野を培うため、外国語および外国文化の教育を系統的に実施する。
- (7) 入学者全員にとってアントレプレナーシップ精神の「萌芽」「気づき」となる科目を配置する。アントレプレナーシップに関する基礎知識を身につける科目群や、実験や討論、PBLを行う科目を設定し、その履修を奨励するとともに、学生生活においても、主体性や問題解決能力を培うことが可能な生活環境を設定する。

ディプロマポリシー (DP、学位授与の方針)

□ 大学全体

- 知識・理解 理工学又は建築・都市デザイン学又は情報学についての基礎・専門知識・技能をもち、様々な場面で活用することができる。
- 思考・判断 ものごとを論理的・創造的・重層的・複眼的に考え、社会の多様化、複雑化、国際化に対応しつつ、適切に判断することができる。また、既存の価値体系にとらわれず、新たな価値を見出すことができる。
- 関心・意欲 理工学又は建築・都市デザイン学又は情報学を学ぶ過程で修得したスキルや挑戦的な姿勢のもと、自主的、主体的、実践的に行動することができる。
- 態度 他者と協働しつつ、主体的・自律的に学修・課題解決をすることができる。また、アントレプレナーシップ精神をもって、変化への対応や課題解決にむけた行動を起こすことができる。
- 技能・表現 理工学又は建築・都市デザイン学又は情報学を学ぶ過程で修得したスキルを活かして、自らの思考などを、適切な手法で表現・発信することができる。

□ 理工学部 理工学科

- 知識・理解 理工学（機械工学、電気電子工学、物質生命科学）についての基礎・専門知識をもち、技術および技能をものづくりやことづくりに活用することができる。
- 思考・判断 社会の多様化、国際化、複雑化する課題に対して探求心をもちつつ、論理的、創造的、重層的、複眼的な思考と新たな価値を見出すことができる。
- 関心・意欲 「ものづくり」、「ことづくり」に挑戦する力のもとで自主的、主体的、実践的に行動することができる。
- 態度 教養・専門知識を修得するため計画的、継続的、自律的に学修をする向上心をもつことができる。また、アントレプレナーシップ精神をもって、変化への対応や課題解決にむけた行動を起こすことができる。
- 技能・表現 発信力（コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力）と傾聴力を修得し、自らの思考・判断のプロセスを説明することができる。

機械工学系

- 知識・理解 機械工学に関する専門知識と技術を修得し、それらの知識と技術をものづくり活動に応用できる。また、機械工学分野における設計・図面化・加工・組み立て・評価といったものづくり活動に欠かせない技術を身につける。
- 思考・判断 社会の発展に機械工学が果たしている役割を充分理解し、従事している仕事から課題を常に見つけ、高い企画力と行動力をもって、積極的に課題解決に取り組むことができる。
- 関心・意欲 科学・技術の進歩と社会ニーズの変化に常に関心をもち、自律的かつ継続的に新しい知識を学ぶ向上心・意欲をもつことができる。
- 態度 機械工学技術者としての倫理観や責任感をもちながら、それを組織活動でも活かせるべく協調性・リーダーシップ等の人間性・態度を身につけることができる。またグローバルな視点で海外の人・組織と関わる態度を身につけることができる。
- 技能・表現 機械工学の方法論に基づき、自らの論理的な思考・判断のプロセスや結果を説明するためのプレゼンテーション能力とコミュニケーション能力をもつことができる。

電気電子工学系

- 知識・理解 電気回路・電子回路・電磁気の基礎を理解し、ハードウェアとソフトウェア両面から、制御システム、電力変換システム、情報通信システム、各種電子・光応用デバイスの設計・開発や、それらに関する実験・評価システムを理解・提案・構築できる。
- 思考・判断 社会における課題と電気電子工学との結びつきを捉え、制御・システム、電力・エネルギー、情報・通信、電子・光応用といった専門性・切り口から、自由な思考を持って、課題解決法を考案し、その妥当性・有効性を判断できる。
- 関心・意欲 地域社会における課題への関心や解決へのチャレンジ精神を常に持ち、解決に向けた技術調査や、知識・技術の習得を、自主的かつ実践的に行い、電気電子分野における資格取得にも挑みながら、それらを活かそうとすることができる。
- 態度 地域社会における課題に対し、自分ごととして捉え、自身の専門性・知識・技術・研究力を活かして、解決に向けて行動し、社会実装・事業化に繋げようとする意欲を持つ。
- 技能・表現 電気電子工学に基づく科学的な事象理解に基づいて、もの・ことづくりを実践する力を身につけ、情報分析、統計、データサイエンスの考えも用いながら、客観的に、自身の試みやその検証結果を口頭発表や科学論文によって、第三者に伝えることができる。

物質生命科学系

- 知識・理解 化学を中心に物理学や生化学、分子生物学に関する素養を身につけ、生命科学・食品科学・材料科学・環境科学・エネルギー科学などのいずれかの分野の知識に基づいて考えることができる。
- 思考・判断 科学・技術と自然・環境との調和を理解することで現在の課題を発見し、未来を創造することができる。
- 関心・意欲 自ら環境・生活・生命・安全に関わる諸問題を解決するための専門知識を求め、自主的に課題に取り組むことができる。
- 態度 環境・生活・生命・安全に関する地域や社会のニーズに柔軟に対応し、かつ倫理的に行動することができる。
- 技能・表現 物質生命科学における方法論に基づき、自らの思考や判断過程を効果的に説明することができる。

□ 建築・都市デザイン学部 建築・都市デザイン学科

- 知識・理解 建築・都市デザイン学について基礎・専門知識をもち、技術および技能をものづくりやことづくりに活用することができる。
- 思考・判断 多様化・複雑化する社会や国際情勢に関する課題に対し探求心をもちつつ、論理的かつ創造的な思考のもと、社会に対する新たな価値を見出すことができる。
- 関心・意欲 「ものづくり」、「ことづくり」に挑戦する力のもとで自主的、主体的、実践的かつ積極的に行動することができる。
- 態度 教養・専門知識を修得するため計画的、継続的、自律的に学修する向上心をもつことができる。また、アントレプレナーシップをもって、社会の変化への対応や課題解決にむけた行動を率先してできる。
- 技能・表現 発信力（コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力）と傾聴力を修得し、自らの思考・判断のプロセスを説明することができる。

建築学系

- 知識・理解 建築計画・意匠・建築史、建築構造、建築環境・設備、建築材料・建築生産の個々の分野における広範な基礎知識と高度な専門知識を有し、個々の分野を統合しうる技術をもつ人材として、とりわけ地域固有の気候、風土や文化などを活かした都市・建築空間の創造に寄与することができる。
- 思考・判断 建築／都市／地域のスケールを横断し、3次元的な視点から創造的・論理的な思考と判断ができる。
- 関心・意欲 他領域との関連が高く、扱う領域も広い建築学の諸領域への関心を常にもち、かつ持続的に新しい知識を得る意欲をもつことができる。
- 態度 建築技術者として、倫理観や責任感を有し、同分野の人のみならず他領域・他分野の人とも高い協調性をもつことができる。地域や社会のニーズに対し想像力のある回答をすることができる。
- 技能・表現 自らの提案を他者・社会にプレゼンテーションする、あるいは発注者、利用者および技術者などプロジェクト関係者とスムーズに意思疎通するなどのコミュニケーション能力をもつことができる。

都市デザイン学系

- 知識・理解 都市計画、社会インフラ整備、都市環境及び防災・減災に関する広範且つ先端的な専門知識を備え、変化し続ける地球環境や地域住民の生活環境に柔軟に対応し、快適で安全・安心な地域住民の暮らしを創造することができる。
- 思考・判断 環境変化や複雑化する都市環境のなかで、様々な要素をバランス良く捉え、備えた高度専門知識を適切に用いて課題を解決することができる。
- 関心・意欲 住民の暮らしに関わる広範・複雑な事案に関心を持ち、新たな知識・技術等を挑戦的・実践的に取り入れ、新たな課題解決策を意欲的に立案することができる。
- 態度 技術が社会や自然に及ぼす影響や効果を理解し、技術者としての確たる倫理観を備え、他者との協調・協働により課題解決に取り組むことができる。また、アントレプレナーシップ精神をもって、変化への対応や課題解決に向けた行動を起こすことができる。
- 技能・表現 他者の思考を傾聴し意思疎通を図ったうえで、自らの考えを論理的且つ判り易く伝えることができる。

□ 情報学部 情報学科

- 知識・理解 コンピュータと人間の感性に対する理解に基づいて、情報科学とICT（情報コミュニケーション技術）に関する深い知識を活用することができる。
- 思考・判断 情報学の専門知識、高度情報社会の倫理、および普遍的かつ国際的な価値基準をふまえて、ものごとを論理的、重層的、複眼的に考え、適切に判断するとともに、新たな価値を見出すことができる。
- 関心・意欲 問題意識と進取の精神をもつてものごとを実践し、内省しつつ自らを継続的に向上させることができる。
- 態度 豊かな感受性と知的な創造性の発揮に向けて、主体性をもって他者と協働し、課題に取り組むことができる。また、アントレプレナーシップ精神をもって、変化への対応や課題解決にむけた行動を起こすことができる。
- 技能・表現 情報学から得た技術・技能と態度を活かして情報を収集し、自らの思い・考えを様々なシステムやコンテンツに表現し、発信することができる。



静岡理工科大学 入学者選抜

(様式 B)

活動報告書

フリガナ	リコウカ タロウ
氏 名	理工科 太郎

*	I	II	III	IV	V	×

受験番号	*
------	---

* 印欄には記入しないこと

I 高度な技術や能力を持つ者（資格、検定、免許など）

取得年月	取得資格	認定機関
2024 年 6 月	情報処理技術者試験 ITパスポート試験	独立行政法人情報処理推進機構
2024 年 10 月	実用英語技能検定2級	公益社団法人日本英語検定協会
2025 年 1 月	情報技術検定2級	公益社団法人全国工業高等学校長協会
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		

II 社会的活動を通じて高い評価を得ている者（例：ボランティア活動など）

活動期間	団体名	団体における役職	表彰事項
2023 年 8 月～2024 年 8 月	〇〇市社会福祉協議会	グループリーダー	
年 月～ 年 月			
年 月～ 年 月			
年 月～ 年 月			
年 月～ 年 月			

裏面有

Ⅲ 課外活動等さまざまな分野で高い評価を得ている者

(例：発表会，コンテスト，競技会等)

年 月	大会・競技会等の名称	主 催	成績（順位等）
2025 年 4 月	春季静岡県西部地区〇〇大会男子個人戦	静岡県〇〇〇連盟	〇位入賞
年 月			
年 月			
年 月			
年 月			
年 月			
年 月			
年 月			

Ⅳ その他具体的な事例で示すことのできる特長を持った者

(例：校内活動等で指導的な役割を果たした者等)

年 月	事 項
2023 年 8 月	海外インターンシップ参加
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	

* 上記Ⅰ～Ⅳを証明する資料があれば、そのコピー（A4版サイズ）を同封すること

○記載事項について補足が必要な場合や記載事項以外の活動の様子については以下に記入すること

基本情報技術者試験の取得に向け、放課後学習を続けている。

志望理由書 記入例

静岡理工科大学 志望理由書

受験番号

--	--	--	--	--	--

在籍学校名

(右詰め)

									○	○	○	立	○	○	○	高	等	学	校
--	--	--	--	--	--	--	--	--	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

志願者氏名

(右詰め)

															理	工	科	太	郎

本文

(360字以内)

私	が	貴	学	の	〇	〇	学	科	を	志	望	す	る	理	由	は	、	高
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

校	1	年	生	の	時	に	見	学	し	た	○	○	研	究	室	で	聞	い	た
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

[illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible]

横書きで記入（入力）すること

 20×20

志願票の記入例

・11月度選抜

●第2志望学系

第2志望学科・学系がある場合、✓をつけること。
[一般推薦・自己推薦のみ]

2008……平成20年
2007……平成19年
2006……平成18年
2005……平成17年
2004……平成16年
2003……平成15年
2002……平成14年

2026年度 静岡理工科大学入学志願票

11月度選抜用 ※

①

試験日	選考区分 (いずれかに✓をつけてください)	志望学系(情報は学科) (いずれかに✓をつけてください)	第2志望学系 (希望がある場合、✓をつけてください) [一般推薦・自己推薦のみ]	試験場
11月15日	☒ 指定校推薦 ☐ 専門高校・総合学科 給費奨学生推薦 ☐ 一般推薦 ☐ 自己推薦	☐ 機械工学系 ☒ 電気電子工学系 ☐ 物質生命科学系 ☐ 建築学系 ☐ 都市デザイン学系 ☐ 情報学科	☐ 機械工学系 ☐ 電気電子工学系 ☐ 物質生命科学系 ☐ 建築学系 ☐ 都市デザイン学系 ☐ 情報学科	本学

フリガナ	シズ・オカ リタロウ	性別	男 ① 女 ②
氏名	静岡 理太郎	生年月日	西暦 2007年 7 月 16 日

出身高校	静岡県立 愛野高等学校	卒業年月	西暦 2026 年 月 (卒業) 卒業見込			
高校コード	22999H	課程	1.全日制 4.高卒認定 2.定時制 5.高専 3.通信制 9.その他	1 学科	1.普通科 4.農業科 2.工業科 5.総合学科 3.商業科 9.その他	1

連絡先	〒 437-8555	住所フリガナ (市郡区から)	フクロイシトヨサワ
住所	静岡県 袋井市 豊沢 2200-2 ○○ハウス△△号室		
電話番号 (自宅)	(0538) 45-0118	携帯電話	000-0000-0000

※記入不要

《コンビニ「収納証明書」貼付欄》

コンビニで支払いを行った場合は、「取扱明細書兼領収書」の「収納証明書」部分を切り取り、こちらに全面的り付け。

※1. コンビニでの支払方法についてはp12を参照すること。
※2. コンビニ支払の場合は、以下「振込金受取書」「振込依頼書」への記入は不要です。

金額 30000円



●出身高等課程・学科

該当する課程・学科コードを記入する。

課程コード表	
1	全日制課程
2	定時制課程
3	通信制課程
4	高等学校卒業程度 認定試験合格者
5	高等専門学校
9	その他

学科コード表	
1	普通科 (理数・英数科含)
2	工業科
3	商業科
4	農業科
5	総合学科
9	その他

2026年度 静岡理工科大学入学検定料 振込金受取書

銀行振込後、出願者が切りはなしてください。

11月度選抜

②

送り先	静岡銀行 袋井支店	金額	30000円
受取人	静岡理工科大学	依頼人	シズオカ リタロウ

この受取書は、領収書に代わるものですから大切に保管すること。

この振込は振込規定にしたがいお取扱いさせていただきます。



2026年度 静岡理工科大学入学検定料 振込依頼書

11月度選抜

③

銀行窓口で支払いを行った場合は、取扱銀行受付印が押されていることを確認した上で出願すること。

静岡理工科大学 収納証明書

コンビニで支払いを行った場合は、「収納証明書」を貼付のうえ、出願すること。

志願票

志願者保管

取扱金融機関保管

電信扱

納入期限
2025年11月6日(木)

取扱店へのお願い

- 1. 太枠内を打電してください。
- 2. 取扱銀行収納印①、②、③に漏れなく押印し、①、②を依頼人にお返しください。

問い合わせ先

静岡理工科大学 入試本部
TEL 0538-45-0118

依頼日	西暦 年 月 日	預金科目	普通預金	金額	30000円
送り先	静岡銀行・袋井支店 口座番号 0401104				内 現金
受取人	シズ オカ リ コウ カ ダイ ガク 静岡理工科大学				当手
依頼人	志願者氏名(カタカナ) シズオカ リタロウ				他手
住所	〒437-8555 静岡市袋井市豊沢2200-2 〇〇ハウス△△号室 TEL(0538) 45-0118				
手数料	¥				振込人にてお支払ください。

認印	報告	記載	照合
----	----	----	----



静岡理工科大学 入学者選抜

推 薦 書

*	I	II	III	×

受験 番号	*
----------	---

* 印欄には記入しないこと

年 月 日

静岡理工科大学長殿

学 校 名

校 長 名

⑩

記載責任者

⑩

	推薦種別 (該当種別に✓してください)
☐	指定校推薦
☐	専門高校・総合学科給費奨学生推薦
☐	公募制 一般推薦

下記の生徒は、貴学の推薦入学者選抜志願者として適当と認め推薦いたします

フリガナ				
氏名		生年月日	西暦	年 月 日生
		卒業年月	西暦	年 月 (卒業見込)
志望学科・学系 いずれかに○を つけてください	☐ 理工学科 機械工学科系			
	☐ 理工学科 電気電子工学系			
	☐ 理工学科 物質生命科学系			
	☐ 建築・都市デザイン学科 建築学系			
	☐ 建築・都市デザイン学科 都市デザイン学系			
	☐ 情報学科			

(注) 所見は裏面に記入してください

(推薦所見記入欄)

本学の建学の精神と基本理念や大学の目的を踏まえ、学科・学系のアドミッション・ポリシーに対応する志願者本人の学習歴や活動歴を踏まえた学力の三要素に関する評価について記載してください。



活動報告書

フリガナ	
氏 名	

*	I	II	III	IV	V	×

受験番号	*
------	---

* 印欄には記入しないこと

I 高度な技術や能力を持つ者（資格，検定，免許など）

取得年月	取得資格	認定機関
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		

II 社会的活動を通じて高い評価を得ている者（例：ボランティア活動など）

活動期間	団体名	団体における役職	表彰事項
年 月～ 年 月			
年 月～ 年 月			
年 月～ 年 月			
年 月～ 年 月			
年 月～ 年 月			

Ⅲ 課外活動等さまざまな分野で高い評価を得ている者
 (例：発表会, コンテスト, 競技会等)

年 月	大会・競技会等の名称	主 催	成績（順位等）
年 月			
年 月			
年 月			
年 月			
年 月			
年 月			
年 月			

Ⅳ その他具体的な事例で示すことのできる特長を持った者
 (例：校内活動等で指導的な役割を果たした者等)

年 月	事 項
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	

* 上記Ⅰ～Ⅳを証明する資料があれば、そのコピー（A 4 版サイズ）を同封すること
 ○記載事項について補足が必要な場合や記載事項以外の活動の様子については以下に記入すること

静岡理工科大学 志望理由書

受験番号

--	--	--	--	--	--

在籍学校名

(右詰め)

志願者氏名

(右詰め)

本文

(360字以内)

[illegible]

試験日	選考区分 (いずれかに✓をつけてください)	志望学系(情報は学科) (いずれかに✓をつけてください)	第2志望学系 (希望がある場合、✓をつけてください) [一般推薦・自己推薦のみ]	試験場
11月15日	☐ 指定校推薦	☐ 機械工学系	☐ 機械工学系	本 学
	☐ 専門高校・総合学科 給費奨学生推薦	☐ 電気電子工学系	☐ 電気電子工学系	
		☐ 物質生命科学系	☐ 物質生命科学系	
		☐ 一般推薦	☐ 建築学系	
	☐ 自己推薦	☐ 都市デザイン学系	☐ 都市デザイン学系	
		☐ 情報学科	☐ 情報学科	

フリガナ		性 別	男 ①	女 ②
氏 名		生 年 月 日	西暦 年 月 日	

出身 高 校	都 道 立 府 県	高 等 学 校	卒業 年 月	西暦 年 月	卒 業 卒 業 見 込
	高校コード	課 程	1.全日制 2.定時制 3.通信制	4.高卒認定 5.高専 9.その他	学 科

連絡 先	〒		住所フリガナ (市郡区から)	
	住 所	都 道 府 県		
	電話番号 (自宅)	() -	携帯電話	-

※記入不要

《コンビニ「収納証明書」貼付欄》

コンビニで支払いを行った場合は、「取扱明細書兼領収書」の「収納証明書」部分を切り取り、こちらに全面的り付け。

※1. コンビニでの支払方法についてはp12を参照すること。
※2. コンビニ支払の場合は、以下「振込金受取書」「振込依頼書」への記入は不要です。

金 額	3 0 0 0 0 円
-----	-------------



2026年度 静岡理工科大学入学検定料 振込金受取書

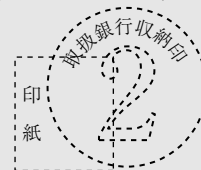
送り先	静岡銀行 袋井支店	金 額	3 0 0 0 0 円
受取人	静岡理工科大学	依頼人 (カタカナ)	

この受取書は、領収書に代わるものですから大切に保管すること。

銀行振込後、出願者が切りはなしてください。

11月度選抜

この振込は振込規定にしたがいお取扱いさせていただきます。



2026年度 静岡理工科大学入学検定料 振込依頼書

電信扱

納入期限
2025年11月6日(木)

取扱店へのお願い

- 太枠内を打電してください。
- 取扱銀行収納印①、②、③に漏れなく押印し、①、②を依頼人にお返しください。

問い合わせ先

静岡理工科大学 入試本部
TEL 0538-45-0118

依頼日	西暦 年 月 日	預金科目	普通預金	金 額	3 0 0 0 0 円
送り先	静岡銀行・袋井支店 口座番号 0401104			内 現金	
受取人	シズ オカ リ コウ カ ダイ ガク 静岡理工科大学			当手	
依頼人	志 願 者 氏 名(カタカナ)			他手	
	住 所	〒			
手数料	¥	振込人にてお支払ください。			



認 印	報 告	記 帳	照 合
-----	-----	-----	-----

個人情報の取扱いについて

① 本学における個人情報の保護に関する基本的な考え方

本学では、個人情報が個人の尊厳と権利を保つために重要なものであり、慎重に取り扱われるべきことに鑑み、個人情報の収集、管理、利用、開示、提供のすべてについて、本人の意思が尊重されることが重要であると考えます。そこで、個人情報について、次のとおり取扱うことといたします。

- 1 個人情報保護法などの関連法規を遵守いたします
- 2 教育活動を行うために必要な範囲で個人情報を収集・利用いたします
- 3 個人情報について、本人からの開示、訂正の依頼があった場合は、本人確認を行ったうえで速やかに対応いたします
- 4 個人情報の管理にあたっては細心の注意をもってあたります

② 受験時にご提供いただく個人情報について

本学受験に際してご提供いただいた個人情報については、以下の目的に利用し、それ以外の目的には使用いたしません。

- 入学者選抜を行うための資料
- 受験者への結果通知および入学手続関係書類の送付
- 入学決定者の名簿作成およびクラス編成の資料

なお、提供していただく個人情報をもとに個人を特定できないように加工した統計データを作成し、それを教育活動の参考に利用することがありますが、この統計データについては個人情報にはあたりませんのでご承知おきください。

③ 個人情報の保有期間

受験の際に提供していただく個人情報は、入学される方については入学後も使用いたします。

辞退者および不合格者については、法律に規定された期間(5年)保管した後、廃棄いたします。

静岡理工科大学 入試本部

〒437-8555 静岡県袋井市豊沢 2200-2

TEL.0538-45-0118

受験生サイト <https://navi.sist.ac.jp/>

